

EVJUNKIE

何でドライバーは飛ばずか 分かりますか？

女子プロのドライバーは、最初から右を向いて立ち、スタンスなりの軌道でドライバーを打つ方法。でも男子のドライバーはスクエアに構え、スタンスよりも右にボールを出して、そこから左に戻している。なぜ違うのだろうか？

フェースローテーションと 押す力で飛ばす

ツアーで一番小柄なボクが他の選手と伍してやっていけるのは、ドライバーが打てるからです。ただ、ドライバーといってもスタンスなりに打ち出して、左に戻す球筋ではありません。スタンスよりも右に打ち出して左に戻すボールなのです。スタンスなりに打つドライバーは、非力な人には覚えやすいですが、球がどのくらい左に切れるか、コントロールしにくい面があります。右に打ち出せばその心配はないし、飛距離的にもかなり有利。右に打ち出すには、フェースを開いて当てて、返す動きが必要。つまり、押しながら返すことが重要なことです。この2つの力が働く結果、スライスよりも遥かにキャリーが伸び、またスピンの少ないのでランも出るというわけです。

押す力と返す力、
この2つをボールに
与えられるんです



ドライバーはフェースが開いた状態で当たり、そこからフェースがグイッと返る



真っすぐ出して左に曲げるのは、背中側に回り込む球なので曲がり幅をコントロールしにくい。ただ、右に出して戻ってくる球であれば、球が視界外に出ることはないで、コントロールしやすい

うえひら まさみち 上平栄道

身長158センチはツアーいち小柄な体型だが、ドライバーで距離を稼いで優勝争いに何度も絡む。フェアウェイキープ率も11位と高水準

先っぽで当たり 芯で離れるイメージで振る

ではドライバーを打つためのインパクトの動きをもう少し詳しく説明しましょう。

ドライバーを打つにはフェースを開いたまま、先っぽで当てるのが重要です。先っぽで当てて、そこから芯の部分にボールを戻すような感覚です。当たった瞬間にヘッドを押すようにして返

すと、フェースの芯にボールが動いていく。芯より先でインパクトし、芯までズラして球離れさせる、という感じ。フェースローテーションをしながら、ボールを包み込むように打つ、と言えはいいでしょうか。インパクトしてから、ヘッド1個分くらい先でボールが離れる。この感覚で振ればボールにドライバー回転がかかり、更なる飛距離アップを可能にするのです。

ヘッドのトゥ寄りインパクトし、芯までボールをズラしてから球離れする感覚で振ると、ボールにドライバー回転がかかる



ティアップを高くすると、下から上へかち上げてしまう

ティアップが高いと かち上げるイメージに

ドライバーはティを高めにして、下から上にかち上げるように打つイメージがある人もいるかもしれませんが、でもそれだと今のクラブではフェースローテーションする前にボールが飛び出すので、ドロップすることもあります。

ティアップは従来の高さを変えないようにしましょう。そしてレベルブローに打つことが大事です。

イメージがわかったら 次はドリルをチェック！

A. なんてドライバーは ランが出るの？

Q. スピン量が 少ないからです

上からヘッドが入るスライスと比べると、ドライバーの場合、ヘッドはインサイドの下めからボールにインパクトします。ボールを“押し”形になるので、必然的にバックスピンは減るのです。だから一度地面に落ちた後にすぐオーバースピンに変わり、ランが稼げる、というワケです。

P11の
答えは
2
です！



フェースの先で当たり、芯方向に動いてから球離れるため、ボールに左回転がかかる。バックスピンと左回転がドライバーのスピンの

